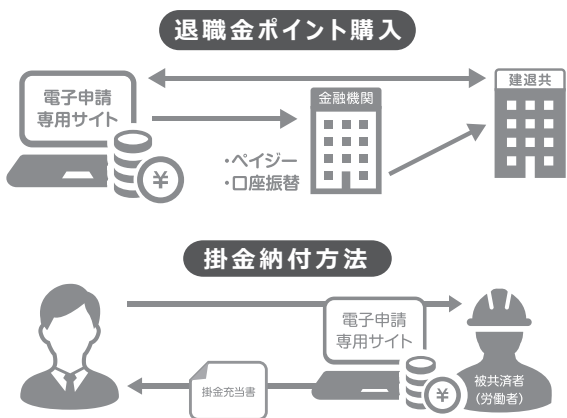


<電子ポイント方式とは？>

掛金納付方法として、建退共創設以来、採用している「証紙貼付方式」に加え、令和2年10月に新たに追加されたのが「電子ポイント方式」です。

電子ポイント方式は、共済証紙に代わって「退職金ポイント」という電子ポイントをページまたは口座振替で購入し、労働者の就労日数を入力した就労実績ファイルを作成、建退共に報告することにより事前に購入した退職金ポイントから掛金として充当するという、掛金の購入から充当までを電子的に行うことができます方式です。

さらに、建設キャリアアップシステム(CCUS)の就業履歴を活用することで、就労日数を登録する作業を簡略化することができます。



電子ポイント方式を利用することで……

こんなメリットがあります！

① 共済証紙に関する事務負担軽減

- ・金融機関窓口での共済証紙購入不要
- ・共済手帳への共済証紙貼付・消印、下請への現物交付が不要
- ・共済証紙受払簿の作成、在庫管理不要

② 公共工事における工事関係書類の電子化に対応

③ 加入・履行証明願作成の事務負担軽減

よくある質問

証紙貼付方式も継続して利用できますか？

電子ポイント方式に切り替えた後も、証紙貼付方式を並行して利用することもできます。
段階的に電子ポイント方式に切り替えたり、証紙貼付方式を残しつつ、一部の工事を電子ポイント方式にすることも可能です。

電子ポイント方式に切り替えた場合、手元に残っている共済証紙はどうなりますか？

手元に残っている共済証紙は、金融機関で退職金ポイントに交換できます。
なお、退職金ポイントを共済証紙に交換することはできませんので、証紙貼付方式と並行して利用する場合は、必要分の共済証紙は手元に残して交換するようにしてください。

一部の協力会社が共済証紙でしか運用できない場合はどうしたら良いですか？

パソコンの操作ができない等の理由で、協力会社が電子ポイント方式を採用できない場合は、元請や上位の協力会社が事務を代行することもできます。
なお、共済証紙をその協力会社分だけ別途購入して交付することも出来ませんが、公共工事の場合は予め発注者の承諾を得てください。

建設現場で働く技能者の退職後の生活を支える建設業退職金共済制度（建退共）。矢作建設工業（名古屋市東区）は2021年6月に電子申請利用者IDを取得し、電子ポイント方式への移行を進めてきた。現在は共同企業体工事など一部を除き、約98%の現場で採用。建設キャリアアップシステム（CCUS）との連携にも積極的に取り組み、技能者への確実な掛金納付と協力会社の事務負担軽減につなげている。建退共の加入促進強化月間が10月1日にスタートする中、電子化を進める狙いや今後の展望について、竹下英司代表取締役社長に聞いた。



竹下 英司氏

電子ポイント方式 現場98%で採用

「導入に当たって重視したことは、協力会社ができるだけ負担をかけることです。電子化に難しさを感じる会社もあるため、煩雑な事務処理は可能な限り当社側で担い、大きく運用を変えなくても利用できる仕組みを整えました。導入当初は複数システムの連携で登録情報に不備があると掛金を払い出せないという課題もありましたが、担

「電子化による効果をどのように感じていますか。」
「技能者一人一人に掛金が確実に納付されていることを確認できる点が大きいです。証紙方式では、協力会社へ渡した後、実際に共済手帳へ貼られているところまで確認するのは困難でした。電子ポイントなら誰に何日分を充当したか確認できます。技能者に確実に掛金を届けられる仕組みになったことは大きな意義があります」

「CCUSとの連携を積極的に進めています。」
「建退共もCCUSも技能者のための制度であり、一体で普及させることが重要です。CCUSの就業履歴を掛金納付につなげれば、技能者にとって現場でカードをタッチする意味も分かりやすくなります。ただ利用を求めるだけでなく、メリットを実感してもらうことが大切です」

「現場では独自の工夫をされていますか。」
「金銭機関での証紙購入や発送、受領書の確認・回収などが不要となり、実作業は従来比で6〜7割程度削減できています。共済証紙受払簿も不要となり、加入・履行証明に関する書類も電子申請専用サイトから作成でき、書類関係の作業では8割程度削減できています。協力会社からも、CCUSの就業履歴を活用することで書類作成の負担が減り「助かっている」との声を聞いています」

「技能者へのインセンティブにも取り組んでいます。」
「一部の現場で『CCUS応援自販機』を設置し、CCUSカードをかざすと1日1本、飲料を無料で受け取れるようにしています。CCUSの目に見えないメリットになる他、夏場の熱中症対策にもなります。飲料をきっかけに現場所長と技能者の会話が生まれ、安全や品質の基となるコミュニケーションの活性化にもつながっています」

「電子化に踏み切れていない企業に伝えたいことは。」
「まずはできることから一歩踏み出すことです。電子ポイント方式は難しく感じるかもしれませんが、払い出し方法は複数あり、分からないことは複数あり、分らないことは建退共に相談できます。一度始めれば『こんなに楽になったのか』とメリットを実感できると思います。証紙から電子ポイントへ切り替えることが全ての入り口です」

「最終的にはCCUSと建退共の自動連携を全現場で活用したいと考えています。現在も一部の現場で始めていますが、CCUSの施工体制に登録されていない会社があるなど、うまく連携できないケースもあります。こうした課題を改善しながら、建退共とCCUSの利用を一層促進し、技能者の処遇改善と協力会社や当社の事務作業の効率化につなげていきます」

「今後の目標を聞かせてください。」
「建設現場労働者のための退職金制度

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

K E N T A I K Y O

申請も管理も
専用サイトで
オンライン完結！

申請や書類管理の
時間や手間を
大幅に軽減できます。

- ① オンラインで業務効率化！
- ② 工事関係書類の電子化にも対応！
- ③ 発注機関等への提出作業が軽減！

建退共にご加入のみなさまへ

オンラインで
もっと早く、
もっと手軽に。

建設業 退 職 金 共 済 制 度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

詳しい情報はこちら

建退共



<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>

